

項目		書名	2 東 書
教科書発行者内容解説資料より		<p>新しい道徳</p> <p>1 人間としての生き方を深く考える。 ①主体的に考え、対話を通して深い学びへ。(各教材の冒頭にテーマを提示し、問題解決的な思考の流れを詳しく示したページを用意。) ②いじめをしない、させない、いのちの重さを知る。(1つのテーマで3つの教材を組み合わせる「いじめ問題対応ユニット」「生命尊重ユニット」。) ③人間関係を築く。「グループエンカウンター」「探究の対話」など。)</p> <p>2 さまざまな出来事に触れ、未知の世界へ。 ①心に深く訴えかける教材。(アスリートたちの物語、定番の文学教材「銀色のシャープペンシル」、中学生にも人気のある新教材「宝塚方面行きー西宮北口駅」、自然に対する感動へと引き込む写真など。) ②現代的な課題への取組。「情報モラル」「防災・安全」など。 ③他の教科等や家庭生活・地域生活への活用。</p> <p>3 よりわかりやすく、より体系的に。 ①見通しと振り返りの設定。(オリエンテーション・話し合いの手引き) ②評価にも生かせる記入フォーマット。(自由記入欄・自己評価の記録) ③小学校から中学校、さらにその先へ。(巻頭詩・小学校関連教材)</p>	
特色	内容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○SNSを題材にした「情報モラル」、校外学習時の健康管理や歩きスマホ、震災などを題材にした「防災・安全」、尊厳死を題材にした「生命倫理」等を重点的に取り扱っている。 ○いじめ問題対応と生命尊重に関しては、1つのテーマで3つの教材を組み合わせたユニット構成で多面的・多角的に考えられるようになっている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭には、話し合いの手順やルールを具体的に示した「話し合いの手引き」や1年間で学習する内容の見通しをもたせたり、学習を振り返らせたりすることができるページが用意されている。 ○各教材の冒頭に生徒に投げかけるような表現でテーマが示されている。教材を通してどのようなことについて考えるのかを踏まえた上で、学習に入ることができる工夫がなされている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考えてみよう」に示された中心発問と自己を見つめる発問等について考え、「つぶやき」に自分の考えを書き込み、他者との意見交流のきっかけにできる。 ○巻頭に、「話し合いの手引き」を載せ、話し合い活動の充実につなげている。巻末のホワイトボード用紙・心情円は、意見交流に利用できる。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きのイラストや写真・作文や漫画が掲載されている。また、各教材のテーマとともに、投げかけの言葉や内容に関連した漫画の一部分を載せている。 ○1年巻末には、小中関連教材を掲載している。各学年の巻末には、学期ごとの自分の学びを振り返るためのワークシートが添付されている。 	
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒に主体的に考えさせるために、つぶやきコーナーを設けている。 ○教科書の紙面はA B判で、標準的な文字の大きさである。 ○文章と用語解説欄の間に線が引かれ、区切られている。漢字の読み仮名は必要箇所につてある。 	
総括		<p>教材のタイトルの前に考える観点を掲載している。発問例は主人公の考え等についてのもものと自分自身に照らしたものを1つずつ掲載している。また、目次にはその題材が4つの視点のどれに該当しているか表示されている。いじめ問題や生命尊重について人間としての生き方を深く考えるよう、問題解決的な学習の流れをとっている。付録、関連するデジタルコンテンツが用意されている。</p>	

項目		書名	11 学 図
教科書発行者内容解説資料より		<p style="text-align: center;">輝け 未来 中学校道徳</p> <p>1 資質・能力の三本柱との対応。 ①道徳的諸価値の理解をもとに、人間（社会・生命・自然）尊重、人間（社会・生命・自然）理解の精神を高める。 ②物事を広い視野から多面的・多角的に考え、多様な考え方に触れ、生き方についての教えを深める。 ③人間としての生き方について考えを深め、明日からの自分に生かし、よりよい社会を創ろうとする意欲・態度を育てる。 2 「何を学ぶ・どのように学ぶ・何ができるようになる」の明確化。 ①現代的な課題への対応。＜ポイントをマーク化＞ （「いじめ」「情報モラル」「社会の持続可能な発展」「安全・防災」など。） ②考え、議論するための「発問」・考えを深めていく「心の扉」・学期末ごとに「学びの記録」。 ③多様な授業に資する提案、学年を追って深まる学び。</p>	
特色	内 容	<p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞ ○日常の生活の中での「いじめ」に関する題材、ネットやブログを題材にした「情報モラル」、過去の自然災害や交通事故を題材にした「防災・事故防止」等を重点的に取り扱っている。 ○「いじめ」の問題は、いじめそのものに正対して取り組むことを考える教材といじめに転じかねない事柄を扱った2つの教材からアプローチし、いじめを起こさない・許さない心情が育てられるよう工夫されている。</p> <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫＞ ○巻頭の「道徳の学習を始めよう！」で道徳の学習について、その授業の進め方の参考例が掲げられている。また、「学級づくり」では、各学年で道徳の学習に向かう基盤としての対話ゲームが紹介されている。 ○各題材のタイトルの前に、内容項目と学習の視点が掲げられている。また、その下に各教材で深く考えさせたい重要な現代的課題などを表したポイントマークが示されている。</p> <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞ ○「学びに向かうために」では、発問に「考えよう」「見つめよう」、議論する場面には「意見交換」というマークを付け、多面的・多角的に考え議論するきっかけとしている。 ○各学年の冒頭に、対話ゲームを設置し、互いを認め合い自由に意見交換できる学級づくりに生かせるようにしている。</p>	
	資 料	<p>○マンガ、新聞、図表に加え、詩や写真、伝記なども用いている。また、学校行事と関連させ指導できる教材がある。 ○巻末に「学びの記録」「1年間の振り返り」があり、学習内容を振り返り、これからの自分について考えられるようになっている。</p>	
	表記・表現	<p>○深く考えるために大切な10のポイントマークが各題材に描かれている。 ○教科書の紙面はA B判で、文字は標準より大きい。 ○文章と用語解説欄の間に点線が引かれ区切られている。漢字の読み仮名は必要箇所にふってある。</p>	
総 括		<p>教材のタイトルの前に、内容項目とテーマを掲載している。発問例は主人公の考え等についてのもの、話し合うためのもの、自分自身に照らしたもののなど3～4つ掲載している。 また、「命」、「人・社会」、「自然」、「世界・文化」の4項目を柱としている。深い学びのため教材内容、発問内容、心の扉ページが相互にリンクされている。関連するデジタルコンテンツが用意されている。</p>	

項目		書名	17 教 出
教科書発行者内容解説資料より		<p>中学道徳 とびだそう未来へ</p>	
特 色		<p>1 コンパクトでシンプルな構成。 ① B5判を採用し、教材内容を精選。 (郷土資料を取り入れやすくするため補助教材を含めて35本にすることで、考え、議論する時間を多く確保。) ② 内容をつかみやすい短い教材。(「違反摘発」など。)</p> <p>2 魅力ある多様な教材の掲載。 ① 漫画を採用。 ② 長く読み継がれてきた、すぐれた教材。 (「二度と通らない旅人」「たったひとつのたからもの」「足袋の季節」など。) ③ 現代的な課題への対応。 (「情報モラル」「生命倫理」「社会の持続可能性」など。)</p> <p>3 いじめ問題への積極的な取組。 いじめ問題に直接的・間接的にアプローチしてスパイラルに学習。 (いじめの芽をつむ」「傍観者の言い分から」「加害者の後悔から」など。)</p>	
内 容	特 色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○臓器移植を題材にした「生命倫理」、SNSや歩きスマホを題材にした「情報モラル」、生徒会選挙を題材にした「社会参画」等を重視し、多面的・多角的に考えることができる教材を掲載している。 ○「生命倫理」では臓器移植のテーマが学年をまたいで扱われている。1年生では臓器移植を受ける立場から、3年生では臓器提供をする立場からの視点で命の大切さを多様な見方で考える工夫がなされている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○各学年の巻頭に道徳びらきのページが設けられている。道徳の学習を通して考え深めていける文言が掲載され、これから学んでいくことへの興味や期待が高められるような工夫がされている。 ○各教材のタイトルの右下に、教材を通してどんなことを考えていくのか意識付けができ、教材の内容に応じた適切な問いが配置されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○意識付けをする問いを掲載し、学習の方向を生徒が共有できるようにしている。また、「学びの道しるべ」で、「何を、どのように考え、話し合っていくのか」を示している。 ○「やってみよう」では、直前の教材と類似の場面での役割演技をしたり話し合ったりすることで、考えを深めることにつなげている。</p>	
	資 料	<p>○図やグラフ・意見文・新聞・漫画・写真・歌詞等を掲載しているが、コラムなどは付けず、学習内容を焦点化している。また、学校行事と関連させて指導できる教材がある。 ○中間色の優しい色合いの挿絵や図表、見開きの大きな写真が掲載されている。巻末には、都道府県にゆかりのある人物とその言葉を載せている。</p>	
	表記・表現	<p>○教材を学習指導要領で示されている4つの視点で色分けしている。 ○教科書の紙面はB5判で、標準的な文字の大きさである。 ○文章の下に用語解説が書かれている。漢字の読み仮名は必要箇所につてある。</p>	
総 括		<p>教材のタイトルの下に、考える観点を掲載している。発問例は主人公の考え等についてのもの、自分自身に照らしたものなど計3つ掲載している。また、学年ごとの発達の段階や特性を考慮し、学校行事や体験活動等の関連を図れるようにしている。補充教材ページがあり、重点化したい指導内容を深めたり、地域教材として活用したりすることができる。関連するデジタルコンテンツが用意されている。</p>	

項目	書名 中学道徳 きみが いちばん ひかるとき 38 光 村	
教科書発行者内容解説資料より	<p>1 生徒が本気で考えたいくなる教材ラインナップ。</p> <p>①定番教材。 (銀色のシャープペンシル」「二通の手紙」「足袋の季節」など。)</p> <p>②多様な教材。 (新聞記事「つながる命」・漫画「気づかなかったこと」・歌詞「栄光の架橋」・写真・ポスターなど。)</p> <p>③複数時間で扱う教材。 (「カメは自分を知っていた」「村長の決断」など。)</p> <p>④学び直し教材 (「橋の上のおおかみ」「泣いた赤おに」「手品師」など。)</p> <p>2 生徒が考えを深めるための授業レシピ。</p> <p>①授業の流れがイメージできる。 (学びのテーマ→考える観点→見方を変えて→つなげよう→私の気づき)</p> <p>②1年間の学びが見通せる。 (1年を4つのシーズン〈まとまり〉に分け、テーマに沿った関連する内容項目のユニットを設定。)</p> <p>③教材の入れ替えも自由。</p>	
特色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○さまざまな「いじめ問題」、ネットの書き込みや依存を題材にした「情報モラル」、パラリンピックやユニバーサルデザインを題材にした「共生」等を重点的に扱っている。</p> <p>○現代的な課題の学びを深めていけるように、直前の教材と関連付けられたコラムが設けられている。また、各学年末には、コラム「人と人との関係作り」でよりよい人間関係を築くための取組が提示されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○巻頭には、道徳の時間に対話を通しての学びの広がりや道徳の意義を紹介している。また、主体的に学ぶために教科書の構成を説明するページがある。</p> <p>○各教材の冒頭に、見通しをもった学習を促すためにねらいとなる内容項目を掲載し、タイトルが書かれている。学びのテーマや考える視点等は、教材末に提示されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「学びのテーマ」で、教材を通して考えていくテーマや課題を提示し、考え話し合う柱をつかめるようにしている。</p> <p>○1・2年の冒頭で、「他者との対話」「自己との対話」によって道徳の時間の学びが広がっていくことに触れている。</p>
	資 料	<p>○新聞・写真・漫画・歌詞・ポスターなどを掲載している。また、各学年に1本ずつ、複数時間で学習する教材を設け、多面的・多角的な学びをできるようにしている。</p> <p>○各学年に付録として、小学校の道徳の定番教材を収録している。</p>
	表記・表現	<p>○道徳科の内容項目とのリンク記載がされている。</p> <p>○教科書の紙面はB5判で、標準的な文字の大きさである。</p> <p>○文章内容の下に用語解説が書かれている。漢字の読み仮名は必要箇所にふってある。</p>
総 括	<p>教材のタイトルの前に、内容項目を掲載している。発問例の前に考えるテーマを掲載している。発問例は、主人公の考え等についてが3つ、別の立場からの考えについてが1つ、自分自身に照らしたものが1つある。</p> <p>また、1年を4つのシーズン(まとまり)に分け、テーマに沿った関連する内容項目のユニットを設定している。1年間を通して自分の考えを書くことのできる「学びの記録」が用意されている。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名 中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート</p> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>
<p>教科書発行者内 容解説資料より</p>	<p>1 学習の流れが見える。 ① 3つのステップ。(主題名と2つの発問例の提示。) ② 問題解決的な学習・体験的な学習学習。(授業展開を例示することで、「考え、議論する」ことに集中できる。)</p> <p>2 「道徳ノート」で心の成長を記録する。(4項目5段階) ① 使いやすい1教材1ページ。 ② 自分や友だちの意見の記入。 ③ 必要な箇所だけ活用。自作ワークシートの貼り付けも可能。 ④ 生徒にとっては、自分の成長を実感。教師にとっては、成長の様子を継続的に把握。家庭と学校の連携を円滑化。</p> <p>3 いじめに正面から向き合う。 複数の教材とコラムを組み合わせでユニット化。 (1年生－年間3か所に「いじめ防止ユニット」)。 (2年生－「いじめ」が人権問題であることへの視野の広がり)。 (3年生－「いじめ」を許さない誇りある生き方。)</p>
<p>特 色</p>	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○臓器ドナーを題材にした「生命の尊さ」、東日本大震災などを題材にした「防災・安全教育」、キャリア教育へつながる内容を題材とした「社会貢献」等を重点的に取り扱っている。 ○様々な課題には多様な見方・考え方がることから、生徒の話合い活動を充実させ、多様な意見を出させることで一面的な理解に陥らないように配慮されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○巻頭で教科書の使い方と構成の説明がされている。また、道徳科で何を学習するかや道徳の意義、学びを深めるための手立てが掲載されている。 ○各教材の冒頭にタイトルが掲載されている。タイトルの上は、この教材で考えることが明示され、導入発問としても活用できる。タイトルの下は内容把握を助け、議論時間の確保のため、登場人物が紹介されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○各学年で、「いじめ」について考え議論できるよう、多様な教材、コラムをユニット化し、年間で複数配置している。そして、多面的・多角的に「いじめ」について考えられるようにしている。 ○「主題」「考えてみよう」「自分に+1」のステップで授業展開することで、「考え、議論する」ことに集中できるようにしている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○見開きの写真や挿絵に加え、道徳の学びを広げ、深めるコラムを掲載している。 ○1ページ1教材の構成になった別冊「道徳ノート」があり、導入から振り返りまで使えるようにしている。ノートには罫線がなく、自分の考えや話し合いの内容を自由に書き込めるようになっている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○主体的に考えることができるような発問が記載されている。 ○教科書の紙面はB5判で、標準的な文字の大きさである。 ○用語解説欄は特に設けられていない。漢字の読み仮名は必要箇所に基づいてある。</p>
<p>総 括</p>	<p>教材のタイトルの上に、考えるテーマを掲載している。発問例は、主人公の考え等についてが1つ、自分自身に照らしたものが1つある。 また、主体的な学びと人間としての生き方を考えることを考慮し、別冊ノートを用意している。3年間の系統性・発展性をもたせるため、キャリア教育の視点をもとに、自尊感情・自己有用感・志のある生き方を学年のテーマとしている。関連するデジタルコンテンツが用意されている。</p>

項目	書名 中学生の道徳 明日への扉 224 学 研
教科書発行者内容解説資料より	<p>～プラス思考と未来指向を備えた生徒の育成を目指して～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 確かな授業をサポートする教科書。 <ol style="list-style-type: none"> ①巻頭に考えを深めるための4つのポイントを提示。 ②生徒の問題意識を引き出す紙面。(すべての教材が見開き始まり。教科書に主題名の表示なし。教材末には問いの例。) ③3種類の特設ページの設定。(体験的学習「深めよう」・考え方の選択肢を増やす「クローズアップ」・視野を広げる「クローズアッププラス」) 2 考えを深めるヒントがいっぱいの教科書。 <ol style="list-style-type: none"> ①「いのちの教育」が全学年の重点テーマ。 ②いじめを生まない力を育てる。(直接的、間接的にアプローチできる教材「うわさで決めるの?」「旗」など。) ③2つのテーマ(「地球と未来のために」「スポーツの世界で共に輝く」)に基づいて、それぞれ複数教材を連続させ、学びを深める。 ④先人たち・今を生きる人たちの教材。(「ヒト・i P S細胞を求めて山中伸弥」「杉原千畝の選択」など。) 3 豊かな学びを追求した教科書。 大判を生かした見やすい図。理解を助ける豊富な注釈。
特色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「情報モラル」(スマホ使用のネットトラブル)、「食育」(子ヤギと主人公の話)、「健康教育」(部活動)等の教材を扱っている。 ○共通に掲げられたユニットのテーマについて、複数時間の授業を関連させて、異なる視点や内容項目から考えることで、考えを深めたり発展させたりしている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭で道徳で学ぶことなどが掲載され、考えを深める4つのポイントが提示されている。各学年の最初に自分を見つめる「マイプロフィール」がある。 ○各教材の冒頭はシンプルにタイトルのみが掲載されている。主題名を表示しないことで、特定の価値観を押しつけず、生徒自らが問題意識をもてるような、主体的で対話的な授業展開をねらっている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多面的・多角的に考え、議論することができるように、異なる複数の意見を提示したり、関連情報を提供したりしている。 ○複数教材を関連させて学習するユニットなどを展開し、考えを深められるようにしている。また、各資料の最後に、自己を見つめるきっかけとなる発問例が載っている。
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表紙の次の写真も含め、すべての教材が見開きで始まる。内容に関連した図表も掲載されている。 ○「深めよう」「クローズアップ」「クローズアッププラス」の3種のページを設けて、書き込んだり話し合いにつなげたりすることで、学習内容をさらに深め、広げられるようにしている。
	<p>表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書に自分の考えや意見を書くことができる。 ○教科書の紙面はA4判で、標準的な文字の大きさである。 ○文章内容の下に用語解説が書かれている。漢字の読み仮名は必要箇所についてある。
総括	<p>教材のタイトルのみ掲載し、特定の価値観を押しつけないようにしている。発問例は、生徒が考えを深めたり、自己を見つめたりするものを1つ用意している。</p> <p>また、問題解決的な学習に取り組めるよう特設ページがあり、多面的・多角的に考えることができるように異なる複数の意見や関連情報を提示している。関連するデジタルコンテンツが用意されている。</p>

項目	書名 中学生の道徳 中学生の道徳ノート	232 廣あかつき
教科書発行者内容解説資料より	<p>1 2冊の相乗効果で道徳性を育む。</p> <p>①内容項目ごとに解説と問いでページ構成し、生徒の学びを記録できる自己評価、学習の記録欄を設定。</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びへ導く。</p> <p>①教材末に「めあて」といくつかの問い（話し合いのきっかけ・自我関与・生徒が考えたいくなる）を提示。</p> <p>②考えを広げたり深めたりする内容をさまざまな視点から提示。</p> <p>3 35時間分の選りすぐりの教材を掲載。</p> <p>①重点項目「生命の尊さ」「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「よりよく生きる喜び」の教材を各学年3つずつ掲載。（「語りかける目」など。）</p> <p>②豊富な実践に裏打ちされた名作・現代的な課題を扱った新作・「人間のよさ」が感じられる魅力的な教材。（「美しい母の顔」など。）</p> <p>③人権・いじめ防止に関する教材・情報モラル教材を多数掲載。（「最後の年越しそば」「言葉の向こうに」など。）</p> <p>④学びを深めるさまざまな資料掲載。（人物紹介・表・図・グラフなど）</p>	
特色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○動物保護を題材とした「社会の持続可能な発展」、ボランティア活動を題材とした「社会参画」、尊厳死を題材とした「生命倫理」等、重点項目として関連する教材を扱っている。</p> <p>○現代的課題の教材は、異なる立場で主張がなされるものや様々な対立的な問題を抱える事柄が多いため、一面的な扱いを避け、多様な見方・考え方ができるように工夫されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○巻頭の「自分を見つめよう」で道徳の時間とは何かという意義が掲載されている。また、話し合いや対話、振り返り等が学習には大切であることが示されている。</p> <p>○各教材の冒頭はシンプルにタイトルのみが掲載されている。タイトルの下には、別冊「道徳ノート」の関連ページが示されており、相互に活用することで道徳的思考が深められるようになっている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「考える・話し合う」に考える手がかりとなる問いが掲載されていて、それについて考えることで、話し合うきっかけとなっている。</p> <p>○別冊の道徳ノートには、授業や学習の記録のページに加え、話し合い活動の記録ができるページが作られている。そこに、自分の考えや話し合いを通して新たに気付いたこと・考えたことを書くことができる。</p>
	資 料	<p>○写真に加え、詩や表・図・グラフ・新聞などを掲載し、学びを深める手助けとなるようにしている。</p> <p>○本冊の巻末に収納できる別冊の道徳ノートがあり、その中に、読み物や活動を伴う学習に関する補助教材が掲載されている。</p>
	表記・表現	<p>○別冊「道徳ノート」があり、教科書には「道徳ノート」との関連ページが記載されている。</p> <p>○教科書の紙面はA B判で、標準より大きい文字である。</p> <p>○文章の下に用語解説がある。漢字の読み仮名は必要箇所につてある。</p>
総 括	<p>教材のタイトルのみ掲載し、特定の価値観を押しつけないようにしている。発問例の前に考えるテーマを掲載し、発問例は主人公の考え等についてが3つ、自分自身の考えについてのものが1つある。</p> <p>また、教科書と道徳ノートの相乗効果で生徒の心の成長を図っている。「自主・自律」「生命の尊さ」「思いやり、感謝」「よりよく生きる喜び」を重点化している。関連するデジタルコンテンツが用意されている。</p>	

書名		道徳 中学校	233 日 科
項目			
教科書発行者内容解説資料より	<p>1 中学生にとって魅力ある有意義な時間を提供。</p> <p>①キャリア教育の視点から生き方を探す。 (自己啓発→自己理解→自己実現)</p> <p>②新時代のオリジナル教材。 (「二枚のチケット」「ぼくの留学体験記」など。)</p> <p>2 教師の授業を支え、活性化する工夫。</p> <p>①道徳的価値を基盤とした価値観の多様性と出会う教材。 (いじめを許さない心「コンスタンチン君命のリレー」・情報モラルを守る態度「一通のメッセージから始まる物語」・伝統と文化、他国を尊重する心「小泉八雲が見た出雲の国」など。)</p> <p>②生徒の思考を促し、ゆさぶる「問い」の設定。</p> <p>③発達の段階に応じて作られたシリーズ作品。 (「リョウとマキ～First Love」「リョウとマキ～Triangle Zone」「リョウとマキ～Stand by Me」)</p> <p>3 他の教科、領域に生かすことができる。</p> <p>①カリキュラム・マネジメントの活用。(各教材に内容項目番号を記載。学習指導要領の内容項目に沿った4章立て。)</p>		
特色	内容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「キャリア教育」の視点から生き方を探す題材、「いじめ」を許さない心を育てる題材、ネット社会の人間関係形成に視点をおいた「情報モラル」等の題材を各学年において複数扱っている。</p> <p>○価値観の多様性をしっかりと受け入れる寛容な心を育むことを特に目指しており、物事の多面的・多角的な見方・考え方ができる工夫がされている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○巻頭では、道徳科では何を学ぶのかといったオリエンテーション資料が掲載されている。また、教科書の効果的な使い方などが示されている。</p> <p>○各教材の冒頭はシンプルにタイトルのみが掲載されている。教材末に「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」という問いが設けられている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「考え、話し合ってみよう」に、生徒の思考を促し、ゆさぶるきっかけにするための問いが掲載されている。</p> <p>○「話してみよう」や「討論」では、1つの記事に対する様々な立場からの意見を紹介し、生徒自身の考えを深めたり他の人と意見交流をしたりすることができる。</p>	
	資料	<p>○巻末には、1ページの大きさや見開きなどで、大きくインパクトのある写真が掲載され、資料の理解を助けたりイメージを膨らませたりできるようになっている。</p> <p>○「もっと知りたい」では、考えを深めたり視野を広げたりするために、前の資料に関連した資料を取り上げている。</p>	
	表記・表現	<p>○各題材末尾にある発問内容が大きい文字で記載されている。</p> <p>○教科書の紙面はB5判で、標準的な文字の大きさである。</p> <p>○文章内容の下に線が引かれ、用語解説が書かれている。漢字の読み仮名は必要箇所につてある。</p>	
総括	<p>教材のタイトルのみ掲載し、特定の価値観を押しつけないようにしている。発問例は主人公の考え等についてと自分自身の考え等についてが、それぞれ1つずつある。</p> <p>また、教材は、学習指導要領の内容項目順にまとめて排列されている。キャリア教育の視点から生き方を探すため、自己理解・自己啓発・自己表現を各学年のテーマとしている。</p>		